

第2章 西宮市における自殺の現状



I 統計からみる西宮市の現状

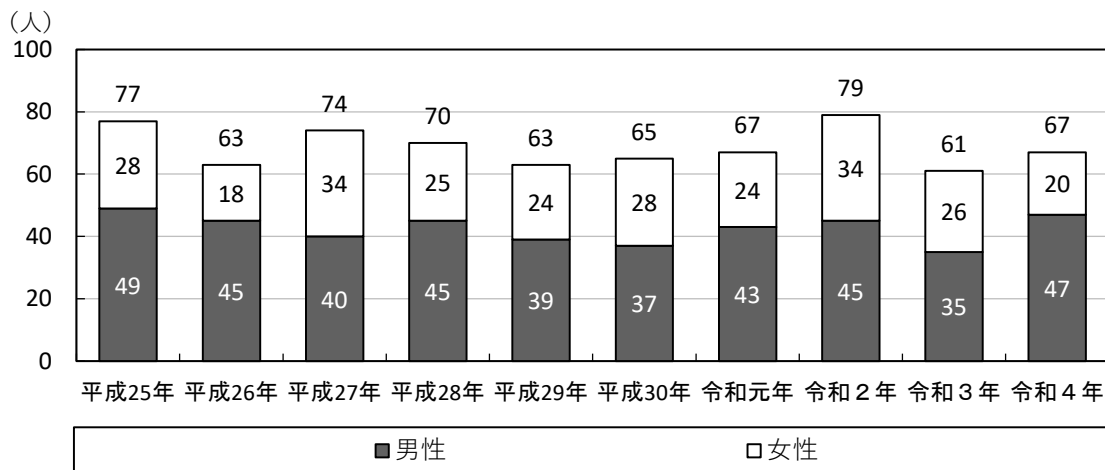
(1) 自殺者数

① 自殺者数の推移

本市の自殺者数は、平成29（2017）年以降、60人台で推移していました。なお、令和2（2020）年に79人に増加しましたが、令和3（2021）年以降、再び60人台に転じています。

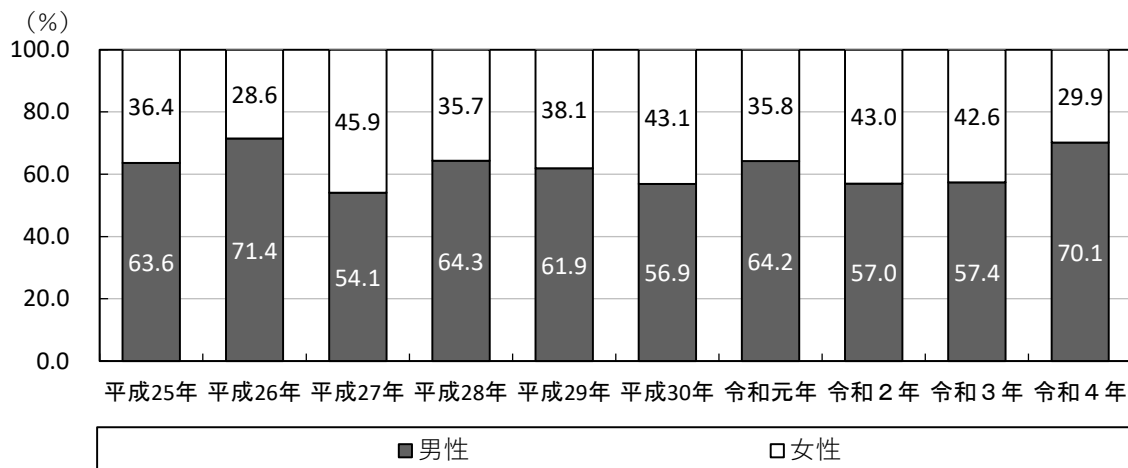
男女別にみると、男性の割合が高くなっています。

■男女別自殺者数の推移



資料：地域における自殺の基礎資料（厚生労働省）

■男女別自殺者割合の推移



資料：地域における自殺の基礎資料（厚生労働省）

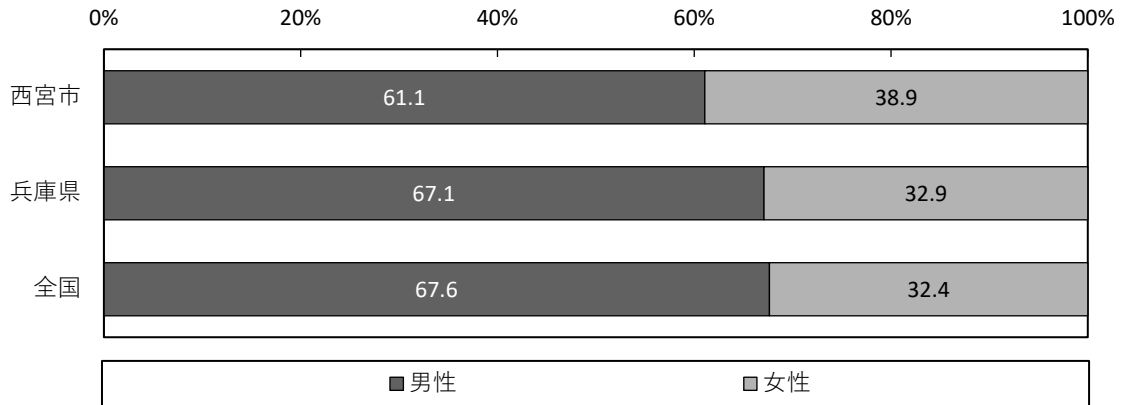
※地域における自殺の基礎資料：警察庁の自殺統計原票データを、厚生労働省が再集計したもの。

② 自殺者割合の比較

男女別の自殺者割合は、女性が全国、兵庫県と比べて高くなっています。

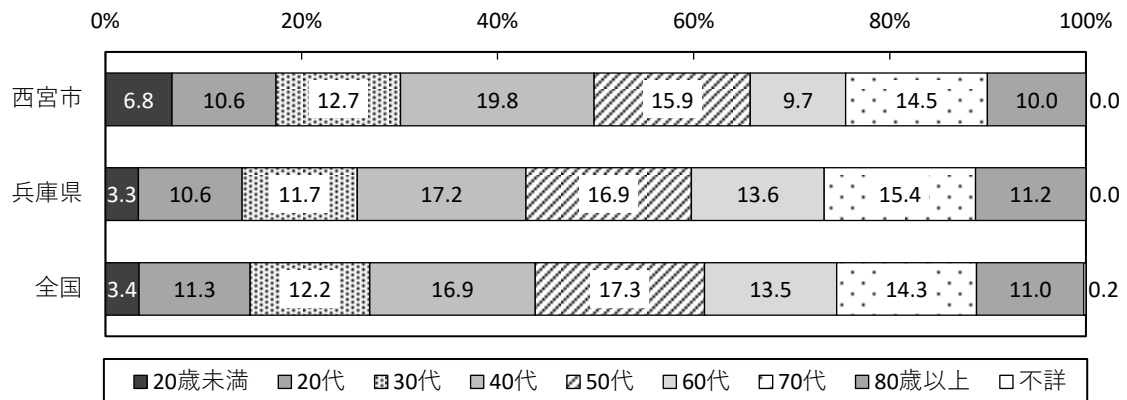
年齢別の自殺者割合は、40代が19.8%と最も高く、次いで50代が15.9%となっています。また30代以下の若い世代の自殺者割合が全国、兵庫県と比べて高くなっています。

■男女別自殺者割合(平成30(2018)～令和4(2022)年合計)



資料: 地域における自殺の基礎資料(厚生労働省)

■年齢別自殺者割合(平成30(2018)～令和4(2022)年合計)



資料: 地域における自殺の基礎資料(厚生労働省)

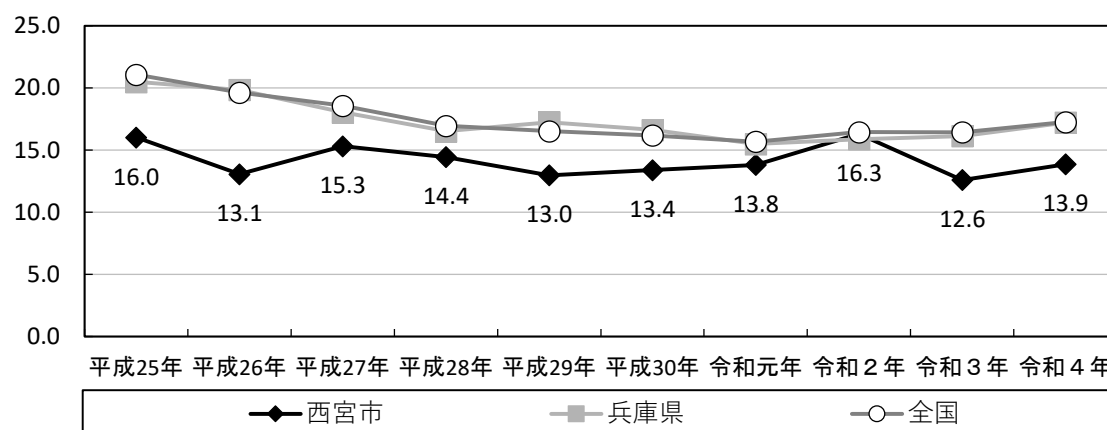
(2) 自殺死亡率

① 自殺死亡率の推移

自殺死亡率は、全国、兵庫県を下回って推移していますが、令和2（2020）年では、兵庫県を0.4ポイント上回り、その後再び下回っています。

■自殺死亡率の推移

（人口10万対）



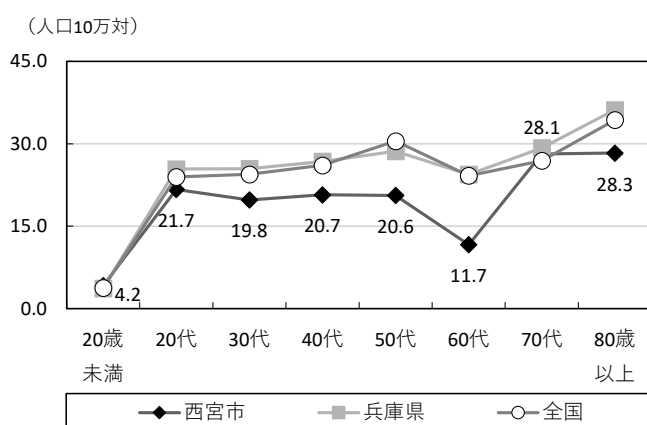
資料：地域における自殺の基礎資料（厚生労働省）

② 性別・年齢別自殺死亡率

男性では、60代で全国、兵庫県を大きく下回り、70代で全国をやや上回っています。女性では、20歳未満、30代、40代、60代で全国、兵庫県を上回っています。

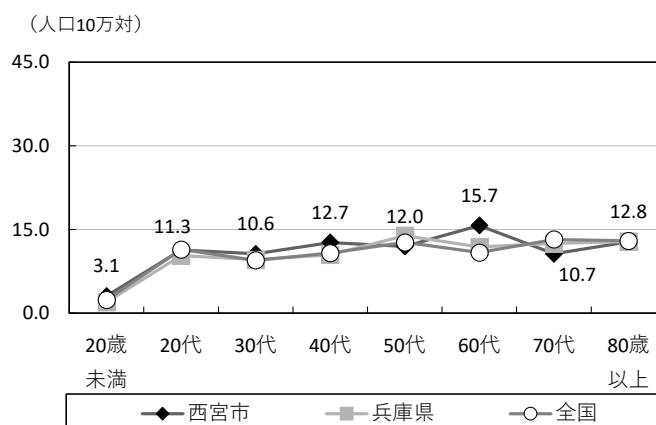
■男性年齢別自殺死亡率

（平成29(2017)～令和3(2021)年平均）



■女性年齢別自殺死亡率

（平成29(2017)～令和3(2021)年平均）



資料：地域自殺実態プロフィール 2022（いのち支える自殺対策推進センター）

※自殺死亡率：人口10万人あたりの自殺死亡者数。人口が異なる自治体間や全国と自殺者数を比較する際に使用する。母数となる人口が少ないほど自殺者数の増減による変動が大きくなる。

※地域自殺実態プロフィール：警察庁自殺対策原票データの特別集計（厚生労働省）を用い、いのち支える自殺対策推進センターが作成したもの。

(3) 年齢別死亡原因順位の状況

西宮市の年齢別死亡原因順位は、自殺が10代、20代、30代で死因の第1位、40代で死因の第2位となっています。

■西宮市の年齢別死亡原因順位(平成29(2017)～令和3(2021)年合計)

年齢階級	第1位			第2位			第3位		
	死因	死亡数	割合	死因	死亡数	割合	死因	死亡数	割合
10～19歳	自殺	11	35%	不慮の事故	5	16%	悪性新生物	4	13%
20～29歳	自殺	44	57%	不慮の事故	9	12%	その他の症状、徴候及び異常臨床初見・異常検査初見でほかに分類されないもの	7	9%
30～39歳	自殺	44	35%	悪性新生物	33	27%	不慮の事故	9	7%
40～49歳	悪性新生物	140	36%	自殺	61	15%	脳血管疾患	35	9%
50～59歳	悪性新生物	330	42%	心疾患	92	12%	脳血管疾患	65	8%
60～69歳	悪性新生物	843	48%	心疾患	189	11%	脳血管疾患	135	8%
70～79歳	悪性新生物	1,933	44%	心疾患	548	12%	脳血管疾患	311	7%
80～89歳	悪性新生物	2,069	27%	心疾患	1,153	15%	脳血管疾患	582	8%
90～99歳	老衰	1,105	21%	心疾患	925	18%	悪性新生物	725	14%
100歳～	老衰	190	43%	心疾患	75	17%	肺炎 その他の呼吸器系の疾患	30 30	6.8% 6.8%

資料：人口動態統計に基づき西宮市が作成

兵庫県の年齢別死亡原因順位は、自殺が10代、20代、30代で死因の第1位、40代で死因の第2位となっています。

■兵庫県の年齢別死亡原因順位(平成29(2017)～令和3(2021)年合計)

年齢階級	第1位			第2位			第3位		
	死因	死亡数	割合	死因	死亡数	割合	死因	死亡数	割合
10～19歳	自殺	139	39%	不慮の事故	62	17%	悪性新生物	50	14%
20～29歳	自殺	521	55%	不慮の事故	109	11%	悪性新生物	99	10%
30～39歳	自殺	535	35%	悪性新生物	349	23%	心疾患	124	8%
40～49歳	悪性新生物	1,521	33%	自殺	747	16%	心疾患	497	11%
50～59歳	悪性新生物	4,021	41%	心疾患	1,192	12%	脳血管疾患	728	7%
60～69歳	悪性新生物	12,016	48%	心疾患	2,929	12%	脳血管疾患	1,735	7%
70～79歳	悪性新生物	25,979	43%	心疾患	7,572	12%	脳血管疾患	4,305	7%
80～89歳	悪性新生物	28,364	26%	心疾患	16,750	16%	脳血管疾患	8,612	8%
90～99歳	老衰	14,576	19%	心疾患	14,369	19%	悪性新生物	9,929	13%
100歳～	老衰	2,563	41%	心疾患	1,135	18%	肺炎	392	6%

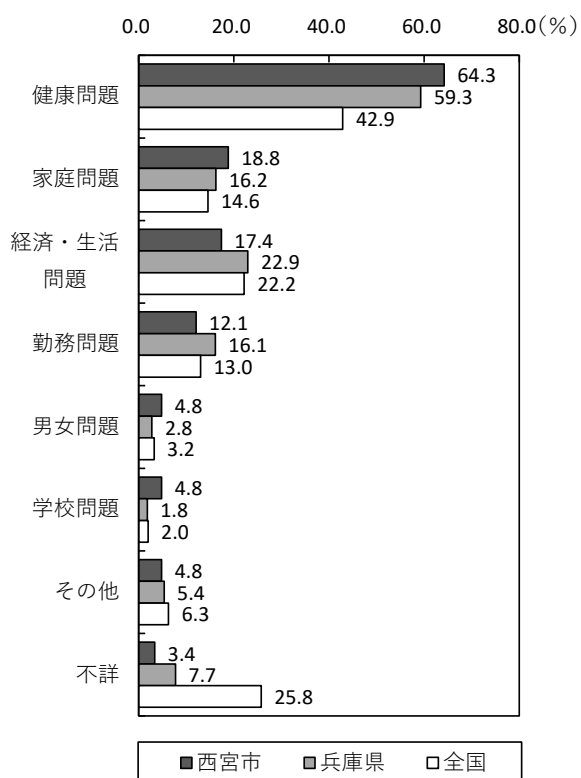
資料：地域自殺実態プロファイル 2022(いのち支える自殺対策推進センター)

(4) 自殺の原因・動機の状況

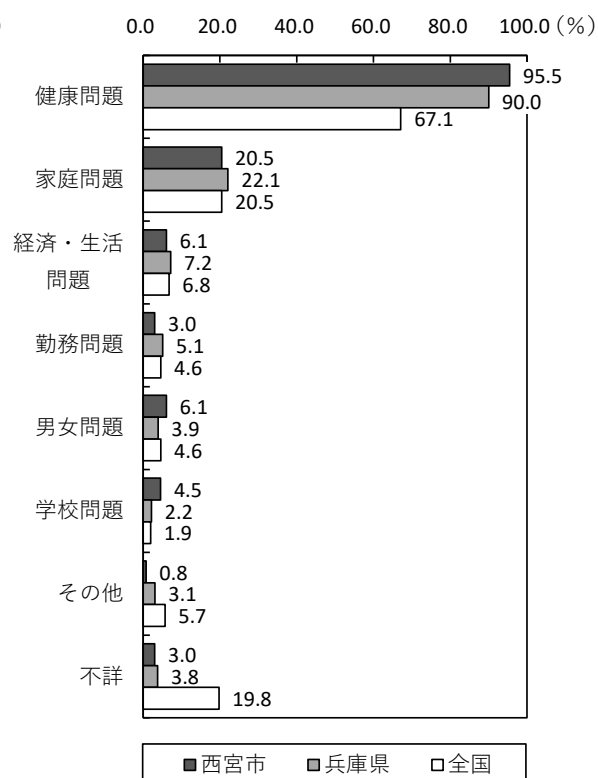
自殺の原因・動機は、男女ともに「健康問題」が最も高く、次いで「家庭問題」となっています。全国、兵庫県と比べて、男性では「健康問題」「家庭問題」「男女問題」「学校問題」、女性では「健康問題」「男女問題」「学校問題」が高くなっています。

■自殺者の原因・動機割合(平成30(2018)～令和4(2022)年合計)

【男性】



【女性】



資料:地域における自殺の基礎資料(厚生労働省)

※自殺の多くは多様かつ複合的な原因及び背景を有しており、様々な要因が連鎖する中で起きている。

■西宮市の原因・動機別・性別自殺者数(平成30(2018)～令和4(2022)年合計)

(人)

(人)

		全体	男性	女性	
家庭問題	親子関係の不和	12	7	5	
	夫婦関係の不和	13	7	6	
	その他の家族関係の不和	5	3	2	
	家族の死亡	6	3	3	
	家族の将来悲観	9	6	3	
	家族からのしつけ・叱責	3	3	0	
	子育ての悩み	6	1	5	
	被虐待	0	0	0	
	介護看病疲れ	6	3	3	
	その他	4	2	2	
	小計	64	35	29	
	健康問題	病気の悩み(身体の病気)	61	40	21
		病気の悩み・影響(うつ病)	108	50	58
病気の悩み・影響(統合失調症)		21	10	11	
病気の悩み・影響(アルコール依存症)		3	3	0	
病気の悩み・影響(薬物乱用)		1	1	0	
病気の悩み・影響(その他の精神疾患)		53	26	27	
身体障害の悩み		3	3	0	
その他		11	8	3	
小計		261	141	120	
経済・生活問題	倒産	1	1	0	
	事業不振	6	6	0	
	失業	4	3	1	
	就職失敗	2	2	0	
	生活苦	11	7	4	
	負債(多重債務)	12	11	1	
	負債(連帯保証債務)	0	0	0	
	負債(その他)	14	11	3	
	借金の取り立て苦	0	0	0	
	自殺による保険金支給	0	0	0	
	その他	5	5	0	
	小計	55	46	9	

		全体	男性	女性
勤務問題	仕事の失敗	5	5	0
	職場の人間関係	6	5	1
	職場環境の変化	0	0	0
	仕事疲れ	11	9	2
	その他	10	8	2
	小計	32	27	5
	男女問題	結婚をめぐる悩み	0	0
失恋		12	4	8
不倫の悩み		0	0	0
その他交際をめぐる悩み		0	0	0
その他		2	2	0
小計		14	6	8
学校問題	入試に関する悩み	3	3	0
	その他進路に関する悩み	5	2	3
	学業不振	6	5	1
	教師との人間関係	0	0	0
	いじめ	0	0	0
	その他学友との不和	0	0	0
	その他	2	0	2
	小計	16	10	6
	その他	犯罪発覚等	2	2
犯罪被害		0	0	0
後追い		0	0	0
孤独感		3	2	1
近隣関係		1	0	1
その他(その他)		4	4	0
小計		10	8	2
不詳	10	8	2	
総計	462	281	181	

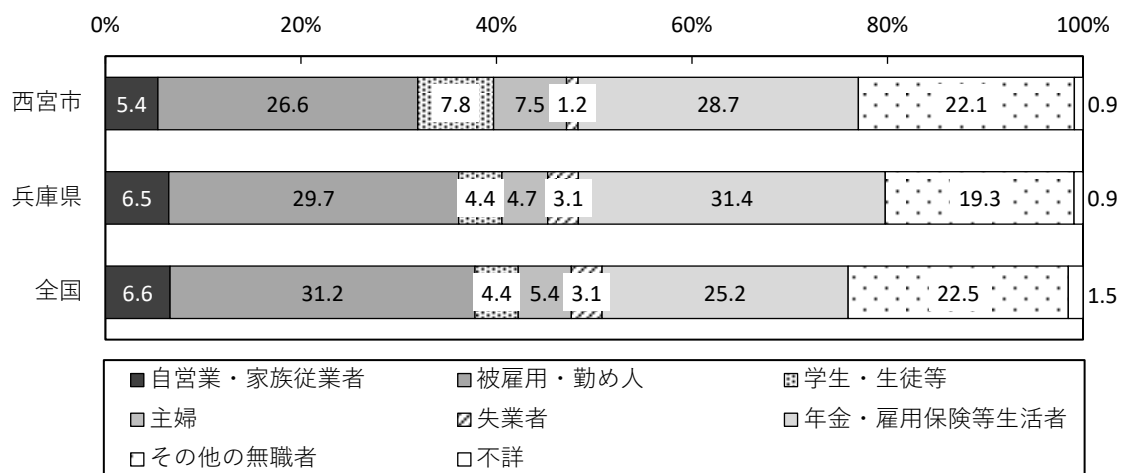
資料:兵庫県自殺者統計情報

※遺書等の自殺を裏付ける資料により、明らかに推定できる原因・動機を自殺者一人につき3つまで(R4は4つまで)計上可能としているため、原因・動機別の数と自殺者数とは一致しない。

(5) 自殺者の職業・同居者の状況

職業別の自殺者の割合は、「年金・雇用保険等生活者」が最も高く、次いで「被雇用・勤め人」「その他の無職者」となっています。全国、兵庫県と比べて「学生・生徒等」「主婦」が高くなっています。

■職業別自殺者の割合(平成29(2017)～令和3(2021)年合計)



資料：地域における自殺の基礎資料(厚生労働省)

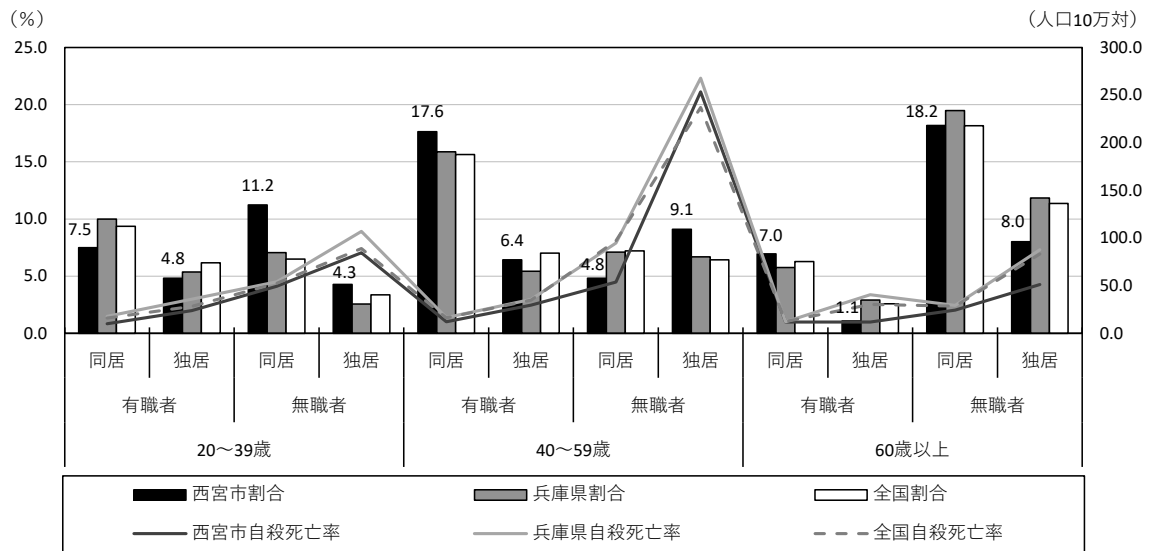
年齢・職業の有無別・同居独居別の自殺者割合は、男性では「60歳以上 無職者 同居」と「40～59歳 有職者 同居」が高くなっています。全国、兵庫県と比べると「20～39歳 無職者 同居」「40～59歳 無職者 独居」等が高くなっています。

女性では「60歳以上 無職者 同居」と「40～59歳 無職者 同居」が高くなっています。全国、兵庫県と比べると「40～59歳 無職者 同居」が高くなっています。

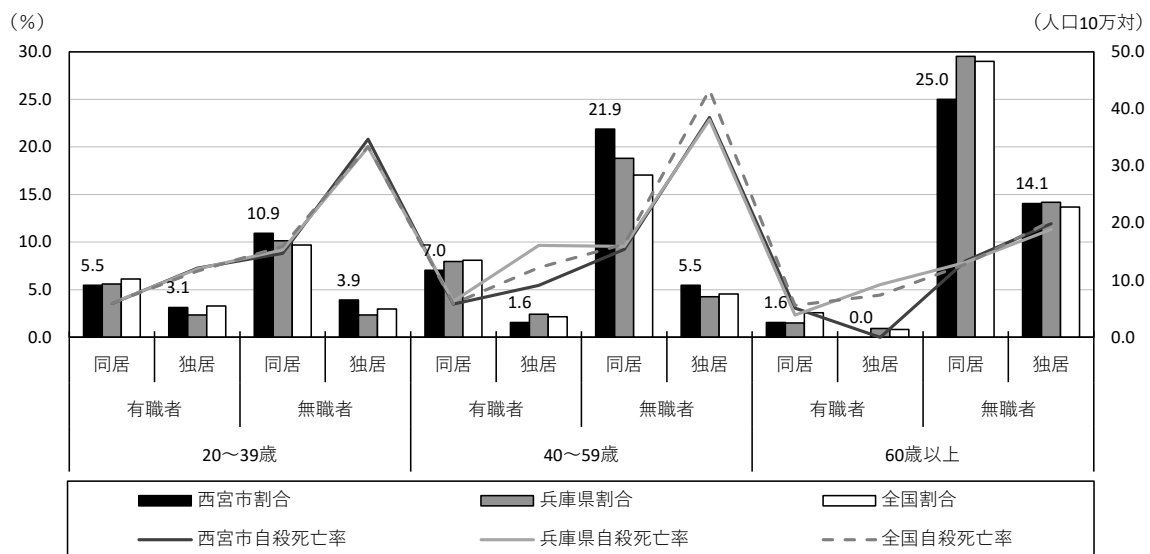
自殺死亡率は、男性では「40～59歳 無職者 独居」、女性では「20～39歳 無職者 独居」と「40～59歳 無職者 独居」が高くなっています。

■年齢・職業の有無別・同居独居別の自殺者割合と自殺死亡率(平成29(2017)～令和3(2021)年合計)

【男性】



【女性】

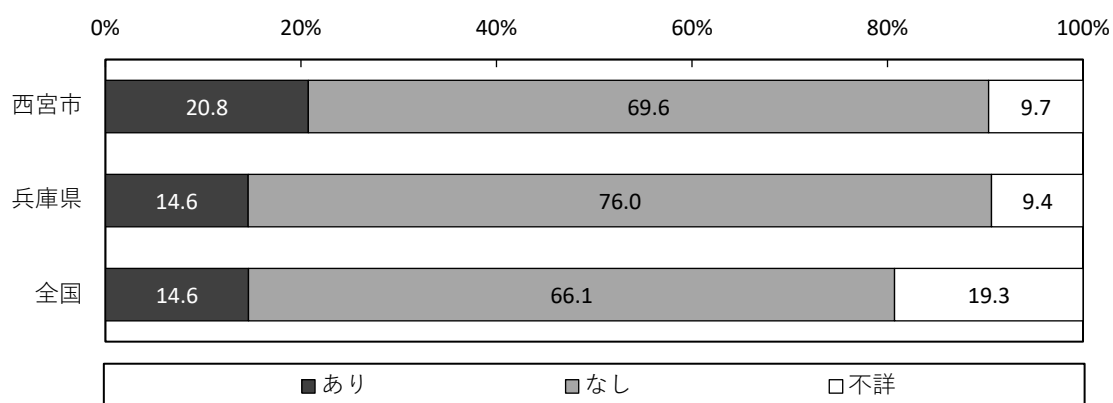


資料:地域自殺実態プロファイル 2022(いのち支える自殺対策推進センター)

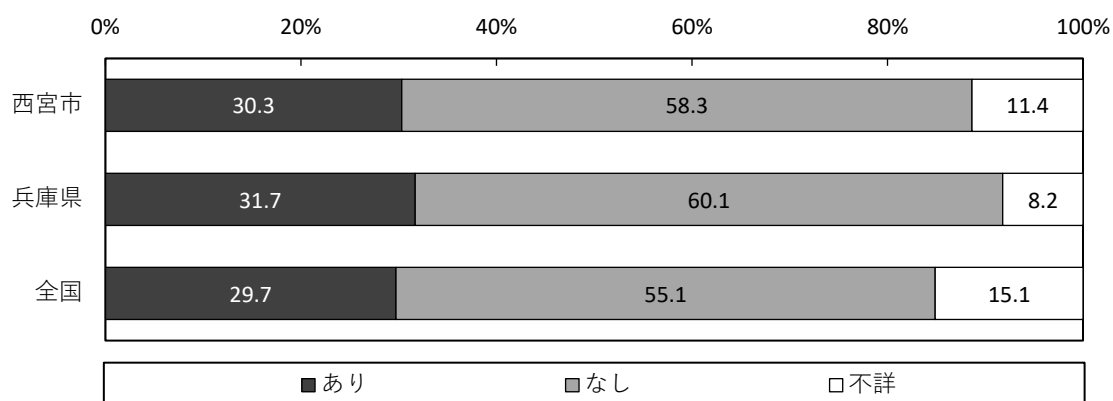
(6) 自殺者の未遂歴の有無

自殺者の自殺未遂歴の有無は、男性では、「あり」が約2割と、全国、兵庫県と比べて高くなっています。女性では、「あり」が約3割と、全国、兵庫県と同様の状況となっています。また、男性よりも女性の方が「あり」が高くなっています。

■自殺未遂歴の有無 男性(平成30(2018)～令和4(2022)年合計)



■自殺未遂歴の有無 女性(平成30(2018)～令和4(2022)年合計)



資料: 地域における自殺の基礎資料(厚生労働省)

(7) 西宮市における自殺の特徴

いのち支える自殺対策推進センターの分析から、過去5年間の自殺者の特徴をみると、生活苦、身体疾患、人間関係の悩み等から自殺につながるケースが多くなっていることが推定されます。

■西宮市における自殺の主な特徴(平成29(2017)～令和3(2021)年合計)

自殺者の特性上位5区分	自殺者数 (5年計)	割合	自殺死亡率 (10万対)	背景にある主な自殺の危機経路
1位:男性 60歳以上無職同居	34	10.1%	24.3	失業(退職)→生活苦+介護の悩み(疲れ)+身体疾患→自殺
2位:男性 40～59歳有職同居	33	9.9%	12.1	配置転換→過労→職場の人間関係の悩み+仕事の失敗→うつ状態→自殺
3位:女性 60歳以上無職同居	32	9.6%	13.4	身体疾患→病苦→うつ状態→自殺
4位:女性 40～59歳無職同居	28	8.4%	15.4	近隣関係の悩み+家族間の不和→うつ病→自殺
5位:男性 20～39歳無職同居	21	6.3%	49.3	①【30代その他無職】ひきこもり+家族間の不和→孤立→自殺/②【20代学生】就職失敗→将来悲観→うつ状態→自殺

資料:地域自殺実態プロファイル 2022(いのち支える自殺対策推進センター)

※区分の順位は自殺者数の多い順で、自殺者数が同数の場合は自殺死亡率の高い順とした。

※自殺死亡率の母数(人口)は、令和2年国勢調査を基にいのち支える自殺対策推進センターで推計した。

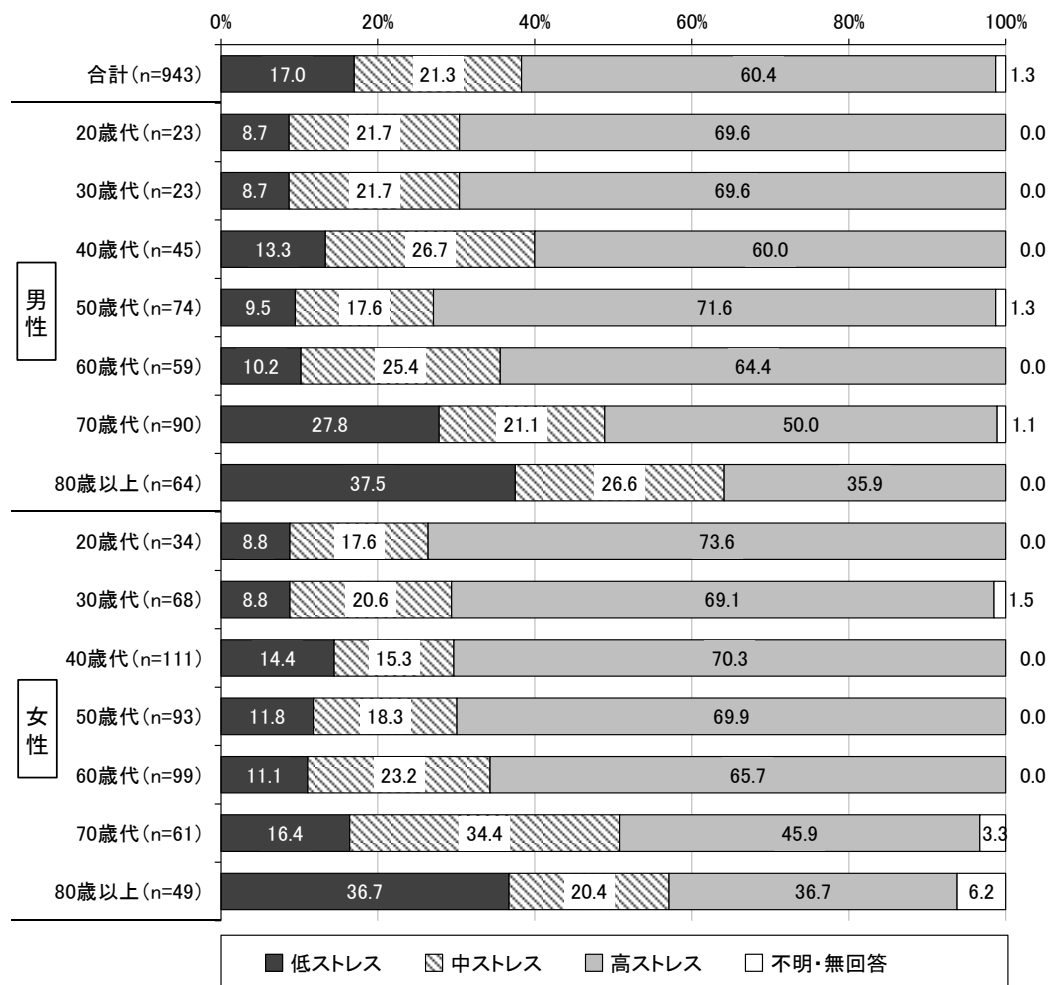
※「背景にある主な自殺の危機経路」は、ライフリンク「自殺実態白書2013」を参考にした。

2 アンケート調査結果

① こころの状態について

ストレスの度合いについて、性別及び年齢別にみると、「高ストレス」が男性の20歳代、30歳代、50歳代、女性の20歳代～50歳代で約7割を占めており、高くなっています。

■ ストレスの度合い【性別・年齢別】

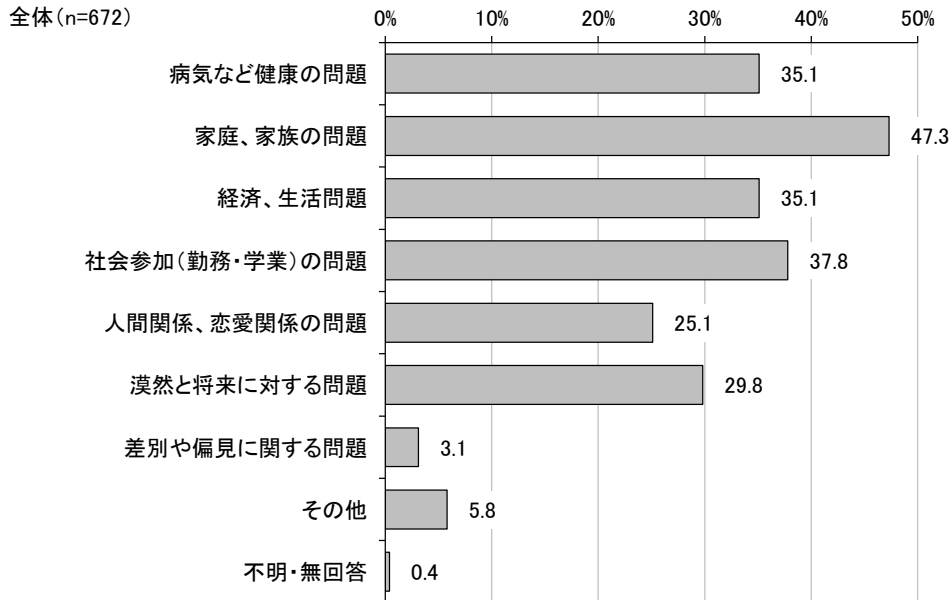


※こころの状態の12項目で「よくある」「ときどきある」を1点とし、6点以上を高ストレス、3～5点を中ストレス、0～2点を低ストレスとした。

② 不安やストレスについて

この1年間にどのようなことで不安やストレスを感じたかについては、「家庭、家族の問題」が47.3%と最も高く、次いで「社会参加（勤務・学業）の問題」が37.8%、「病気など健康の問題」「経済、生活問題」が35.1%となっています。

■どのようなことで不安やストレスを感じたか



悩みやストレスの相談相手について、すべての年齢で「家族・親戚」が多くなっていますが、年齢別にみると、概ね年齢が上がるほど、「家族・親戚」「友人」が低くなっています。また、60歳代以上では、「相談相手がない」割合が他の年代より高くなっています。

■悩みやストレスの相談相手【性別・年齢別】

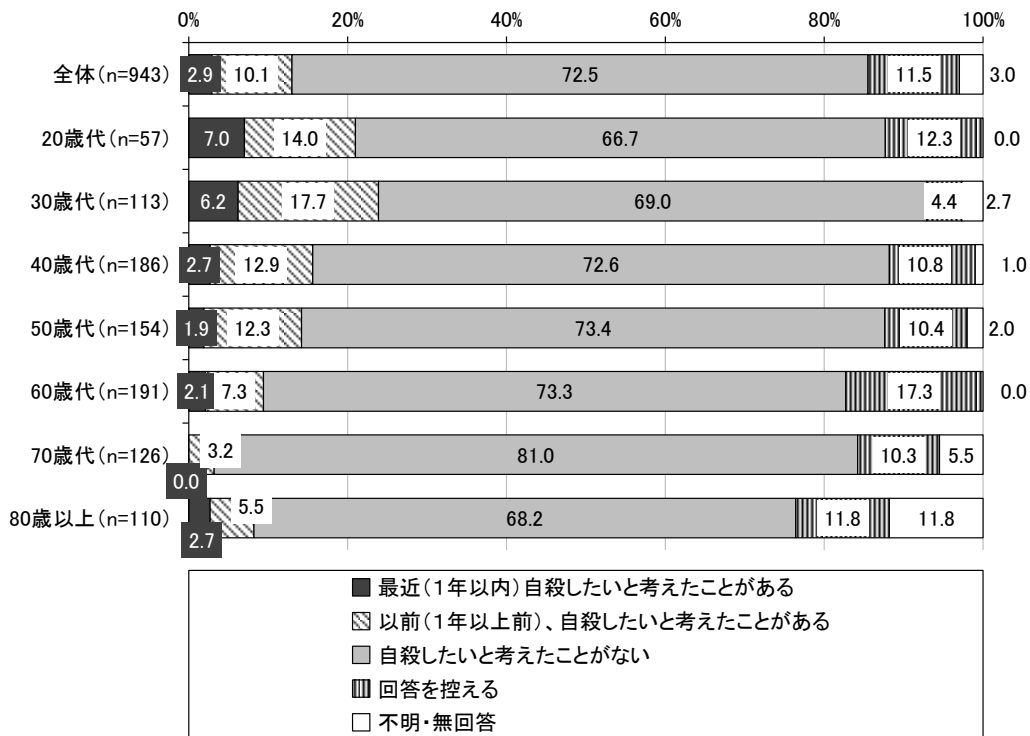
単位：%		家族・親戚	友人	職場関係者	近所の人	公的な相談機関の相談員	民間の相談機関の相談員	医師	自治会の役員、民生委員・児童委員	定多数の相談相手	インターネットでの相談相手	相談相手がない	その他	不明・無回答
全体(n=943)		70.2	49.1	22.4	3.7	1.7	0.7	8.0	0.4	1.8	10.5	2.5	6.4	
性別	男(n=415)	64.8	32.3	22.2	1.4	1.7	1.2	10.4	0.2	1.7	15.2	1.9	9.4	
	女(n=519)	74.8	62.6	22.7	5.4	1.5	0.4	6.2	0.6	1.9	6.7	2.9	3.9	
年齢別	20歳代(n=57)	75.4	64.9	24.6	0.0	0.0	1.8	5.3	0.0	7.0	12.3	0.0	0.0	
	30歳代(n=113)	80.5	57.5	39.8	5.3	2.7	0.9	1.8	0.9	2.7	9.7	0.9	3.5	
	40歳代(n=186)	74.7	58.6	36.0	2.2	2.2	0.5	6.5	0.0	1.6	9.7	1.1	2.7	
	50歳代(n=154)	75.3	57.8	31.2	1.3	1.9	1.3	7.8	0.0	1.9	6.5	1.3	3.2	
	60歳代(n=191)	66.0	46.1	15.2	3.7	2.1	0.5	8.4	0.5	1.0	11.5	4.7	6.8	
	70歳代(n=126)	62.7	34.1	6.3	7.1	0.0	0.8	13.5	0.0	0.8	10.3	1.6	15.1	
	80歳以上(n=110)	58.2	28.2	0.0	4.5	1.8	0.0	11.8	1.8	0.9	16.4	6.4	12.7	

③ 自殺に対する考え方について

これまでに真剣に自殺をしたいと考えたことがあるかについて、年齢別にみると、20歳代、30歳代で『自殺したいと考えたことがある』が他の年齢と比べて高くなっています。30歳代以上では、概ね年齢が上がるほど『自殺したいと考えたことがある』割合は低くなっています。

「家族・親戚」「友人」「職場関係者」の相談相手がいる人では、いない人と比べて「自殺したいと考えたことがない」の割合が高くなっています。

■これまでの人生の中で、真剣に自殺をしたいと考えたことがあるか【年齢別】



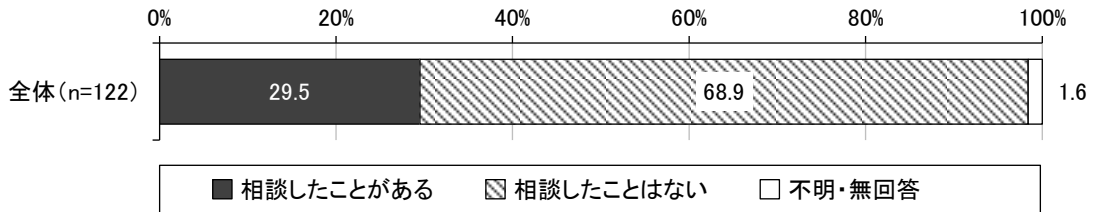
※『自殺したいと考えたことがある』…最近（1年以内）、以前（1年以上前）の合計

■これまでの人生の中で、真剣に自殺をしたいと考えたことがあるか【相談相手の有無別】

単位：%		と殺最 がし近 あたへ るい1 と年 考以 え内 たこ 自	考前以 え前 た、(1 こ自1 と殺年 がし以 あた上 るい と	こ自 と殺 がし ない いと 考え た	回 答 を 控 え る	不 明 ・ 無 回 答
家族・ 親戚	いる(n=662)	2.0	9.8	76.6	10.4	1.2
	いない(n=221)	6.3	12.7	62.4	15.4	3.2
友人	いる(n=463)	1.5	9.5	76.9	10.2	1.9
	いない(n=420)	4.8	11.7	68.8	13.3	1.4
職場 関係者	いる(n=211)	1.4	9.5	81.5	7.6	0.0
	いない(n=672)	3.6	10.9	70.4	12.9	2.2

自殺したいと考えたとき、誰かに相談したかについて、「相談したことはない」が68.9%と高くなっています。

■自殺を考えたとき、誰かに相談したか



自殺したいと考えたとき、相談しなかった理由について、年齢別にみると、20歳代、30歳代で「相談することに抵抗があるから」、30歳代、60歳代で「どこに相談したらいいかわからないから」が他の年齢に比べて高くなっています。

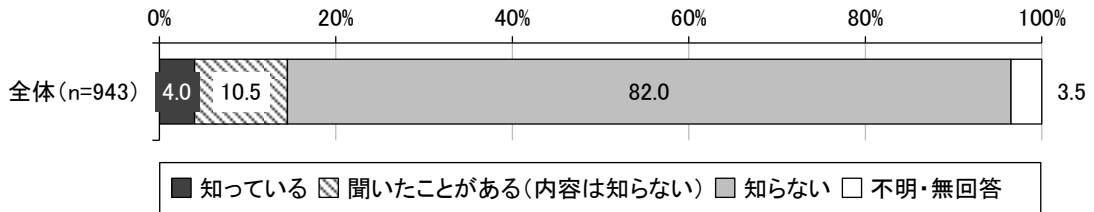
■相談しなかった理由【性別・年齢別】

単位: %		が相談することから抵抗	相談する時間から都合が	どこに相談したらいいかわからないから	思い去りに相談したから嫌な	相談は根本的な解決に繋がらないから	相談したお金がかかる	その他	不明・無回答
全体 (n=84)		41.7	3.6	19.0	6.0	46.4	6.0	15.5	4.8
性別	男 (n=34)	41.2	2.9	32.4	5.9	47.1	5.9	11.8	5.9
	女 (n=49)	42.9	4.1	10.2	6.1	46.9	6.1	18.4	2.0
年齢別	20歳代 (n=7)	57.1	0.0	14.3	0.0	28.6	0.0	14.3	0.0
	30歳代 (n=20)	60.0	5.0	25.0	15.0	50.0	10.0	20.0	0.0
	40歳代 (n=21)	33.3	4.8	19.0	4.8	42.9	4.8	19.0	4.8
	50歳代 (n=14)	28.6	0.0	14.3	7.1	50.0	0.0	14.3	7.1
	60歳代 (n=14)	35.7	7.1	28.6	0.0	35.7	14.3	14.3	14.3
	70歳代 (n=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	80歳以上 (n=7)	42.9	0.0	0.0	0.0	71.4	0.0	0.0	0.0

④ ゲートキーパーについて

ゲートキーパーの認知度について、「知らない」が82.0%と最も高く、次いで「聞いたことがある（内容は知らない）」が10.5%、「知っている」が4.0%となっています。

■ゲートキーパーの認知度



⑤ 相談機関・相談先について

相談機関・相談先の認知度について、年齢別にみると、20歳代、30歳代で「いのちの電話（神戸・はりま・関西）」、80歳以上で「民生委員・児童委員」が他の年齢に比べて高くなっています。

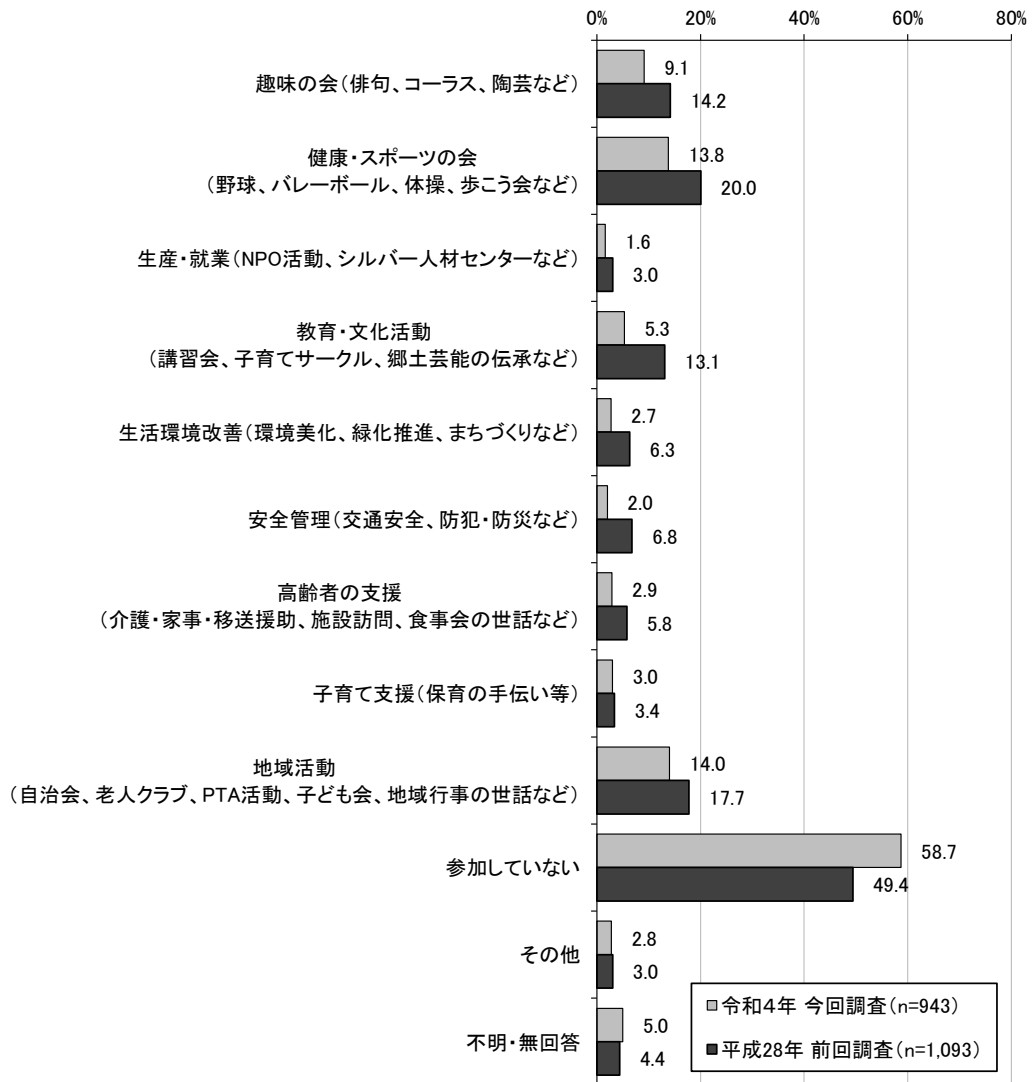
■相談機関・相談先の認知度【性別・年齢別】

単位：%		各 西宮市 保健福祉 センター	市 役所	西宮市 こころの ケア相談	民生委員 ・児童委員	地域 包括 支援センター	社会 福祉 協議会	西宮市 消費生活 センター	夜間電話 法律相談 （兵庫 県弁護士会）	より そい ホット ライン	兵庫 県の いのち の電話 ダイヤル のサ ポート	いのち の電話 （神戸 ・はり ま・関 西）	その他	不明 ・無 回答
全体(n=943)		41.3	40.2	26.9	32.6	21.8	17.5	24.5	2.7	6.2	12.9	29.6	3.0	20.8
性別	男(n=415)	36.6	37.6	21.7	28.0	13.0	14.9	22.2	2.2	4.8	10.1	21.4	2.9	27.2
	女(n=519)	44.7	42.0	31.0	36.4	28.7	19.7	26.2	3.1	7.3	15.2	36.0	2.9	15.6
年齢別	20歳代(n=57)	21.1	35.1	26.3	8.8	12.3	8.8	22.8	1.8	12.3	19.3	42.1	0.0	21.1
	30歳代(n=113)	46.0	40.7	26.5	23.0	15.0	6.2	16.8	1.8	9.7	15.0	45.1	1.8	20.4
	40歳代(n=186)	46.2	41.4	32.8	31.2	18.3	15.6	22.6	2.7	5.4	18.3	30.1	2.7	18.8
	50歳代(n=154)	43.5	41.6	33.8	35.7	24.0	22.1	29.9	3.9	8.4	15.6	35.7	3.2	19.5
	60歳代(n=191)	41.9	42.4	28.8	36.1	27.7	26.7	29.8	3.1	3.7	13.1	30.9	3.7	13.6
	70歳代(n=126)	45.2	41.3	17.5	35.7	24.6	18.3	29.4	1.6	1.6	2.4	12.7	0.8	25.4
	80歳以上(n=110)	28.2	31.8	15.5	40.9	21.8	11.8	13.6	1.8	6.4	6.4	15.5	6.4	33.6

⑥ 活動への参加について

この1年間に趣味の会などの活動に参加したかについて、「参加していない」が58.7%と最も高く、前回調査と比較すると9.3ポイント増加しています。

■この1年間に、会や活動に参加したことがあるか【経年比較】



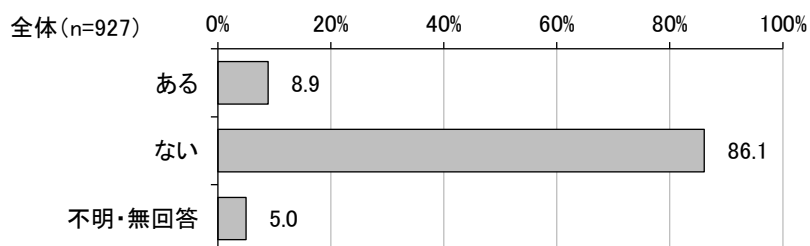
【参考】兵庫県 自殺対策に関する調査結果（未成年）

この1年以内に本気で自殺したいと考えたことがあるかについて、「ある」が8.9%、「ない」が86.1%となっています。

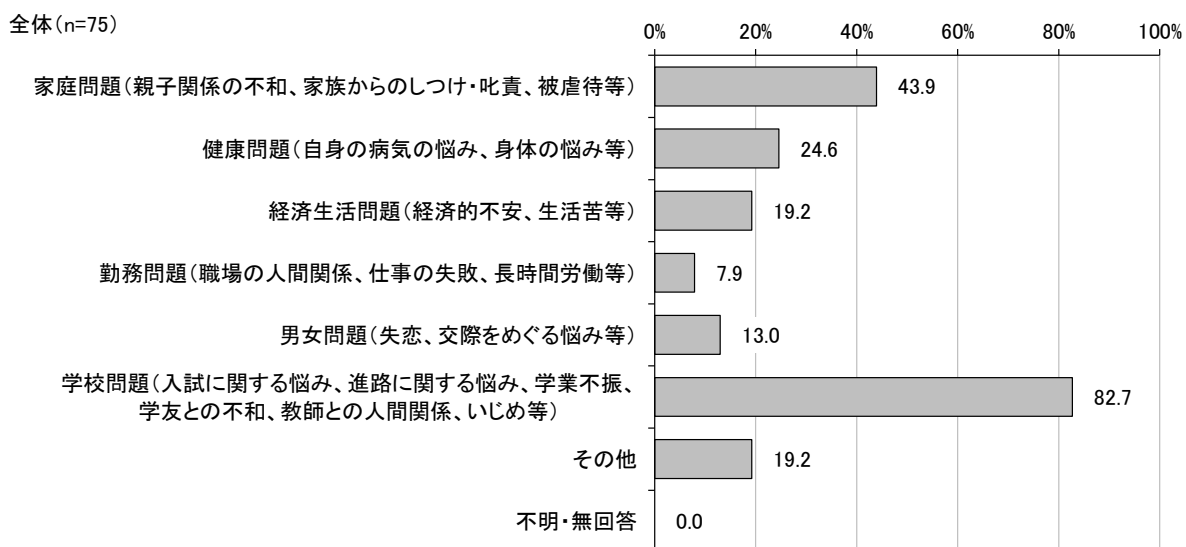
自殺したいと思った理由について、「学校問題」が82.7%と最も高く、次いで「家庭問題」が43.9%、「健康問題」が24.6%となっています。

自殺したいと思うほどの悩みを抱えたときに相談するかについて、「する」が60.4%、「しない」が33.3%となっています。

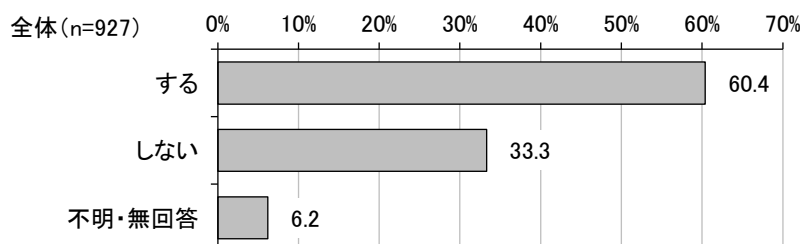
■この1年以内に本気で自殺したいと考えたことがあるか



■自殺したいと思った理由



■「自殺したい」と思うほどの悩みを抱えたときは、誰かに相談するか



資料: 令和3年度 自殺対策に関する調査報告書(未成年)(兵庫県 福祉部 障害福祉課)



3 課題のまとめと方向性

○：統計データ ●：アンケート調査 ★：自殺対策庁内連絡会議での検討・各課ヒアリング

分類	調査結果等
共通	<ul style="list-style-type: none"> ○自殺の原因・動機は「健康問題」が最も多く、次いで「家庭問題」となっている ○西宮市の自殺者は女性の割合が約4割と全国、県と比べて高くなっている ○自殺未遂歴のある自殺者は、男性で約2割と全国、県よりも高くなっている ●不安やストレスを感じた内容では、「家庭、家族の問題」が最も高くなっている ●自殺したいと考えたときに、相談した人は3割未満となっている ●ゲートキーパーを知らない人は約8割となっている ●会や活動に参加していない人は約6割と、前回調査と比べて増加している ★相談窓口等での自殺リスクの高い人の見極め・対応が難しい
妊産・乳幼児期	<ul style="list-style-type: none"> ○西宮市は子育て世代が多く、核家族化が進行しており、地域とのつながりも希薄化してきている中での子育ては、孤立しやすい状況がある ★児童虐待、DV等の相談件数が年々増加している
学童期・思春期(10代)	<ul style="list-style-type: none"> ○自殺者における「学生・生徒等」の割合が全国、県と比べて高くなっている ○自殺者における「20歳未満」の割合が全国、県と比べて高くなっている ●兵庫県の調査では、悩みを抱えたときに誰かに相談する未成年は約6割となっている ★コロナ禍で子供の不登校が増えている ★高校生・大学生へのアプローチ方法が少ない
青年期(20～39歳)	<ul style="list-style-type: none"> ○30歳代、40歳代女性の自殺死亡率が全国の自殺死亡率を上回っている ○男性の自殺者では「20～39歳 無職者 同居」の割合が全国、県と比べて高い ●20歳代、30歳代で1年間に不安やストレスを感じた人は8割以上となっている ●30歳代は、自殺したいと考えたことがある人の割合が高くなっている ●20歳代、30歳代で相談することに抵抗がある人が多くなっている ★行政との接点が少ない世代であるため、支援が届きにくい
壮年層(40～64歳)	<ul style="list-style-type: none"> ○60歳代女性の自殺死亡率が全国の自殺死亡率を上回っている ○女性の自殺者では「40～59歳 無職者 同居」の割合が全国、県と比べて高い ○男性の自殺者では「40～59歳 有職者 同居」の割合が全国、県と比べて高い ○男性の自殺者では「40～59歳 無職者 独居」の割合が全国、県と比べて高く、自殺死亡率も高くなっている ●50歳代、60歳代男性の「高ストレス」が増加している ★家庭での問題が職場では把握しづらい
高齢期(65歳以上)	<ul style="list-style-type: none"> ○60歳代女性の自殺死亡率が全国、県の自殺死亡率を上回っている ○男女ともに自殺者における「60歳以上 無職者 同居」の割合が高くなっている ●80歳以上で「相談相手がいない」割合が他の年代よりも高くなっている ★退職後に周囲との関わりがなく、孤立するケースがある

統計データやアンケート調査等から西宮市の課題と必要な取組を以下のように取りまとめました。

西宮市の課題

- 全国、兵庫県と比べて自殺死亡率は概ね低くなっていますが、過去 10 年で自殺により 686 人が亡くなっています。
- ゲートキーパーの認知度はすべての世代で低くなっており、市民への周知が必要です。
- 相談しない人や相談することに抵抗がある人が多くなっています。
- 全国、兵庫県と比べて自殺者における女性の割合が高く、特に 40 歳以上の無職同居の女性の割合が高いため、家庭問題等への対応が必要です。
- 全国、兵庫県と比べて、自殺者における 20 歳未満の割合が高く、子供やその保護者が悩んだ時に相談できる場所や、子供が問題に直面した時に助けを求めてもよいということを学ぶ教育が必要です。
- 西宮市の自殺者において、40 歳代、50 歳代の有職同居の男性の割合が高く、職場の人間関係や過労等の問題を抱える人への対応が必要です。
- 男女ともに自殺者における 60 歳以上の割合が高く、また他の年代より悩みやストレスの相談相手がないと回答している割合が高くなっていることから、高齢者が孤立を深めていることがうかがえます。
- コロナ禍を経て、地域・家族等とのつながりが希薄化している可能性があり、孤立や家庭問題が自殺リスクにつながるおそれがあります。

必要な取組

- ◆ 相談窓口の職員や生活関連部署の職員等が SOS を受け止めるチャンスを見逃さず受け止めて、つなぐための体制整備
- ◆ 市職員等が気軽に幅広く受けられるゲートキーパー研修やフォローアップのしくみづくり
- ◆ 悩んでいる人がためらいなく相談でき、周りの人も自殺のサインに気づいて声をかけられるよう、相談先の周知や自殺に対する正しい知識、対応についての啓発
- ◆ 自殺未遂者の再企図を防ぐため、消防や医療と連携し、支援につなぐための体制整備
- ◆ 女性や子育て家庭、子供が抱える悩みについて対応できる体制の強化と、孤立しないためのそれぞれに寄り添った支援や居場所づくり
- ◆ 命の大切さ・尊さに関する教育と、子供の SOS に対する周囲の大人の気づきや対応力の向上
- ◆ 子供・若者・女性が抱える悩みについて把握し、求められる支援の検討、関係機関との連携
- ◆ 働き世代の職場の人間関係や過労等の問題解決を図るため、労働基準監督署等関係機関との連携
- ◆ 地域共生社会の実現に向けた施策と自殺対策との連動性を高め、子供から高齢者までが孤立しない支援体制の整備

